



岡山県内経済情勢報告

令和8年4月22日


財務省中国財務局

岡山財務事務所

本調査にかかるお問い合わせ先
財務省中国財務局岡山財務事務所
財務課長 上石
TEL (086) 223-1131 内線 411

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	




（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、改善に向けた動きに一服感がみられる。

【各項目の判断】

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	改善に向けた動きに一服感がみられる	改善に向けた動きに一服感がみられる	

設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	7年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	7年度は減益見込み	7年度は減益見込み	
企業の景況感	「上昇」超に転じている	「下降」超に転じている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
輸出	前年を下回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売は、商品価格の上昇により前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、節約志向が続く中、お手頃感のあるパンやカウンターフーズなどが好調なことから前年を上回っている。家電大型専門店販売は、テレビなどが低調なことから前年を下回っている。ドラッグストア販売は、物価高による買い控えなどがみられるものの、新規出店効果などにより前年を上回っている。ホームセンター販売は、節約志向の強まりから客数が減少しているほか、暖冬で寝具や暖房用品などが低調であったことから前年を下回っている。乗用車販売は、前年を下回っている。

このように、個人消費は、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 生活防衛意識から、特に衣料品や化粧品などで買替頻度が減少している。また、消費者の節約志向が続く中、年始の初売りや、バレンタイン催事が好調であるなど、消費するものと節約するものを選択しながら購入に至る「メリハリ消費」の流れは続いている。(百貨店)
- 食料品全般の価格上昇により、買上点数が減少する一方で、客単価は上昇している。(スーパー)
- 節約志向が続いており、必要なものに絞り込んで購入する傾向が強まっているなか、お手頃感のあるパンやカウンターフーズは、販促商品を中心に好調となっている。(コンビニエンスストア)
- 物価高による買い控えや割安感のある大容量商品が増えているため客単価が押し下げられているものの、引き続き新規出店効果により前年を上回っている。(ドラッグストア)
- 節約志向の強まりから客数が減少しているなか、暖冬で、屋外作業用品の需要が伸びたものの、寝具や暖房用品のほか灯油などが低調であった。(ホームセンター)
- 商品価格が上昇している中、観光客で盛況なことから、お土産販売の需要の高さが続いている。もともと台湾からの観光客が多く、追い風となっているため、中国の渡航自粛の影響はあまり感じられない。(専門店)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

輸送機械は、自動車が増加していることから、増加している。化学は、一部で原料供給の減少の影響がみられ、減少している。汎用・生産用・業務用機械は、需要が堅調に推移していることから、増加している。電気機械は、需要が底堅く、概ね横ばいとなっている。鉄鋼は、船舶向けが堅調なことから、概ね横ばいとなっている。

このように、生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。

- メーカーからの部品受注が好調となっている。(自動車)
- 3月は、中東情勢の影響を受け、一部で減産している。(化学)
- 需要が堅調なことから、生産量は増加している。(汎用・生産用・業務用機械)
- 需要は底堅く、生産量は概ね横ばいで推移している。(電気機械)
- 資材価格の高騰や人手不足などから、建設需要が低調となっており、建築向け鋼材の需要は伸び悩んでいるものの、船舶向け需要は堅調である。(鉄鋼)

■ 雇用情勢 「改善に向けた動きに一服感がみられる」

新規求人数が前年を下回り、有効求人倍率は高水準であるものの低下傾向にある。企業の人手不足感は、法人企業景気予測調査（8年1-3月期）の従業員数判断 BSI でみると、「不足気味」超が続いている。このように、雇用情勢は、改善に向けた動きに一服感がみられる。

- 求人は引き続き弱含んでおり、物価高が続いていることや最低賃金が上昇していることなどコスト高から欠員補充を遅らせたり見送ったりする「求人控え」の動きなどがみられる。（職業紹介）
- 高年齢従業員の割合が高まる中、求人募集を行っているが、応募状況は芳しくなく、従業員の若返りが図れていない。（石油・石炭）

■ 設備投資 「7年度は前年度を上回る見込み」（全産業）「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 製造業では、木材・木製品などで増加見込みとなるものの、化学や繊維などで減少見込みとなっている。
- 非製造業では、不動産などで減少見込みとなるものの、小売や金融・保険などで増加見込みとなっている。

- 生産体制強化のための工場と保管スペース確保のための倉庫を新設している。（木材・木製品）
- 前年度は生産設備の増強投資を行ったが、今年度は維持更新のみとしている。（化学）
- 前年度は新工場を建設したが、今年度は通常投資としている。（繊維）
- 前年度は耐震工事を行ったが、今年度は維持修繕を中心に実施している。（不動産）
- 既存の店舗の改装を行うほか、新規出店も行っている。（小売）
- 建替等店舗の整備を行うほか、業務システムの更新も行っている。（金融・保険）

■ 企業収益 「7年度は減益見込み」（全産業）「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 製造業では、食料品などで増益見込みとなるものの、化学や情報通信機械などで減益見込みとなっている。
- 非製造業では、小売などで減益見込みとなるものの、運輸・郵便や建設などで増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じている」（全産業）「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 企業の景況判断 BSI は、「下降」超に転じている。なお、翌期は「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家が增加していることから、前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を上回っている」

- 輸出は、品目別では、石油製品や非鉄金属などが増加していることから、前年を上回っている。なお、地域別では、北米などで前年を上回っている。

岡山県内経済情勢報告

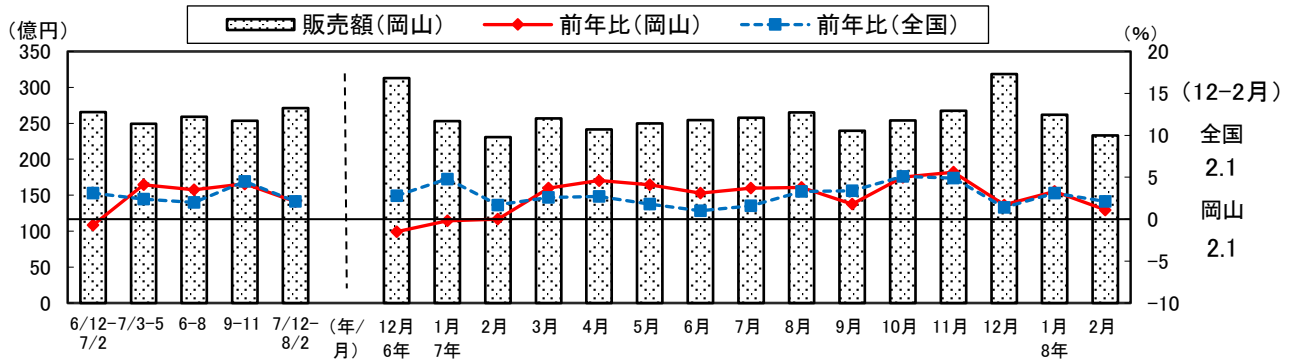
資 料 編

目 次	ページ
1. 個人消費.....	1
2. 生産活動.....	3
3. 雇用情勢.....	4
4. 設備投資.....	5
5. 企業収益.....	5
6. 企業の景況感.....	5
7. 住宅建設.....	6
8. 輸 出.....	6

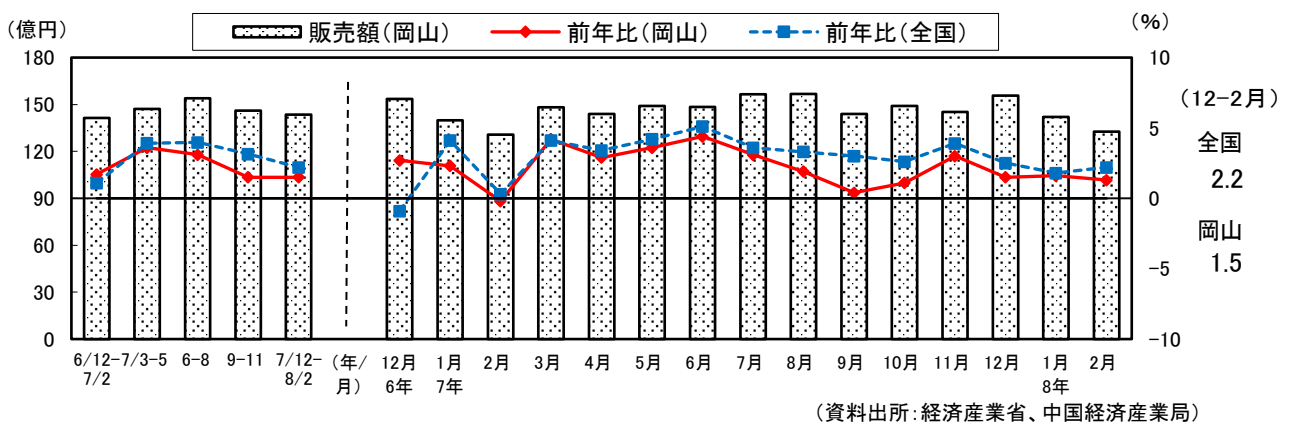
※グラフの外枠（右側）に記載している計数は、各項目の状況を分析する上で参考とした前年比、指数、倍率。

1.個人消費 緩やかに回復しつつある

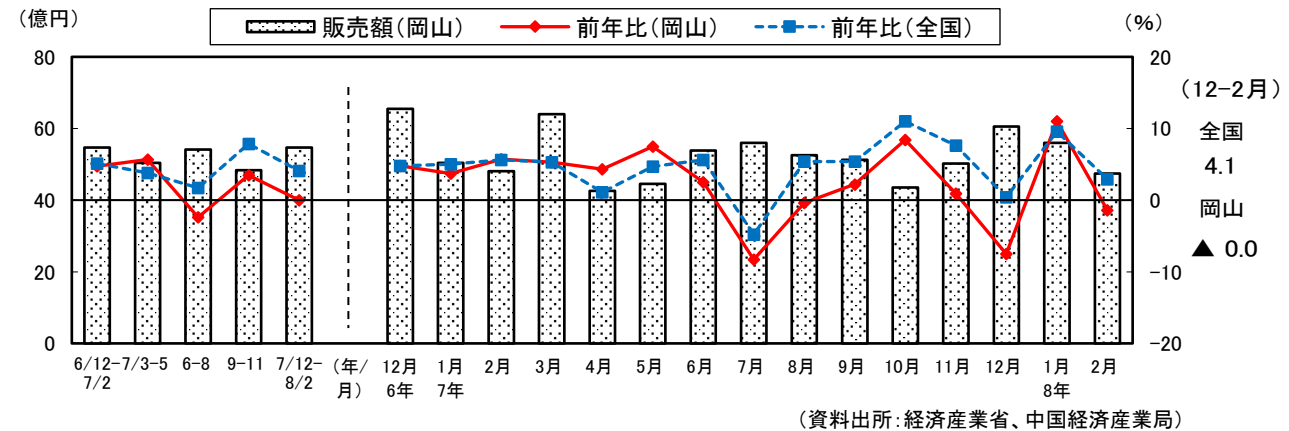
(1)百貨店・スーパー販売額(全店舗:前年比) (注)(1)~(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均



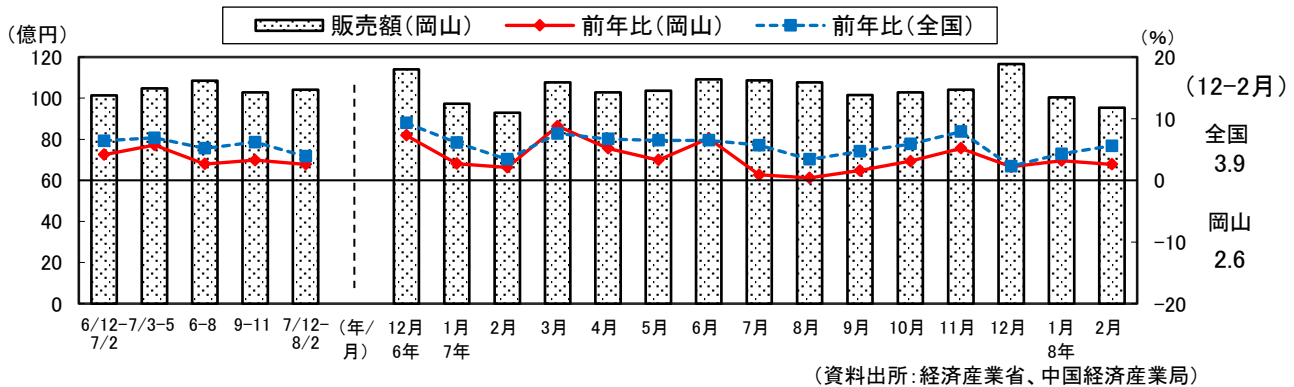
(2)コンビニエンスストア販売額(全店舗:前年比)



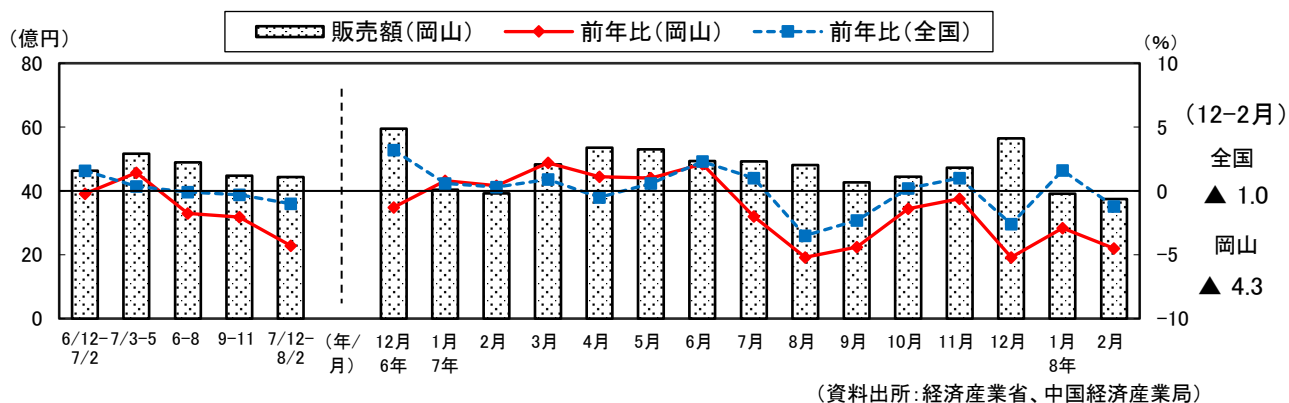
(3)家電大型専門店販売額(全店舗:前年比)



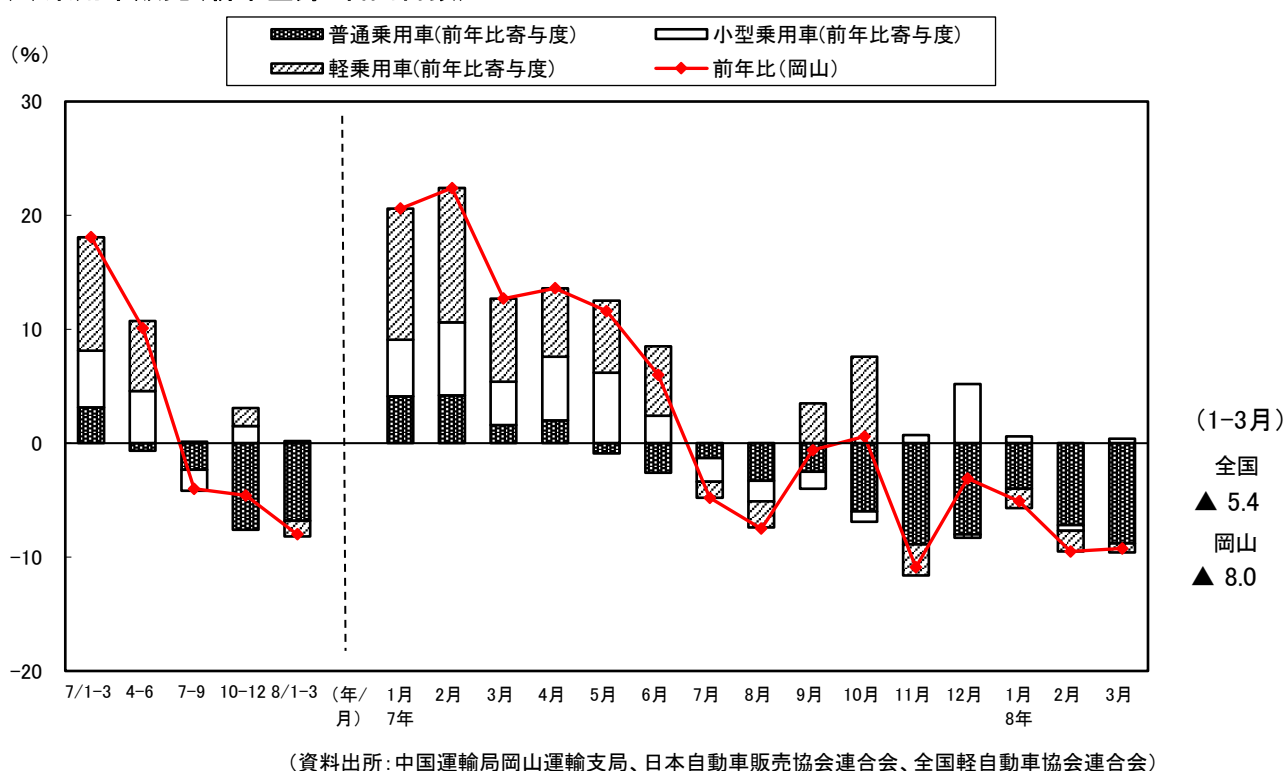
(4)ドラッグストア販売額(全店舗:前年比)



(5)ホームセンター販売額(全店舗:前年比)



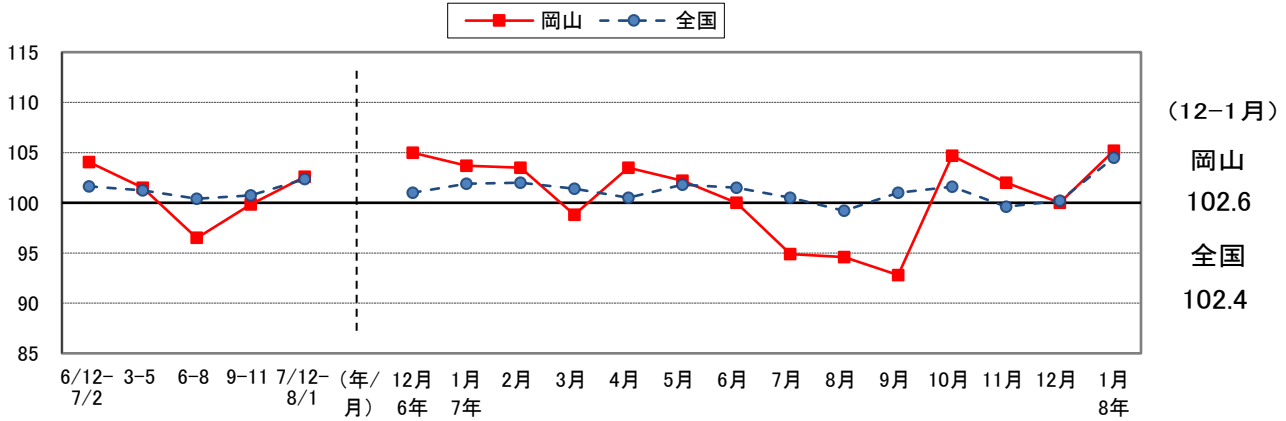
(6)乗用車販売(新車登録・届出台数)



2.生産活動 緩やかに持ち直しつつある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整済)

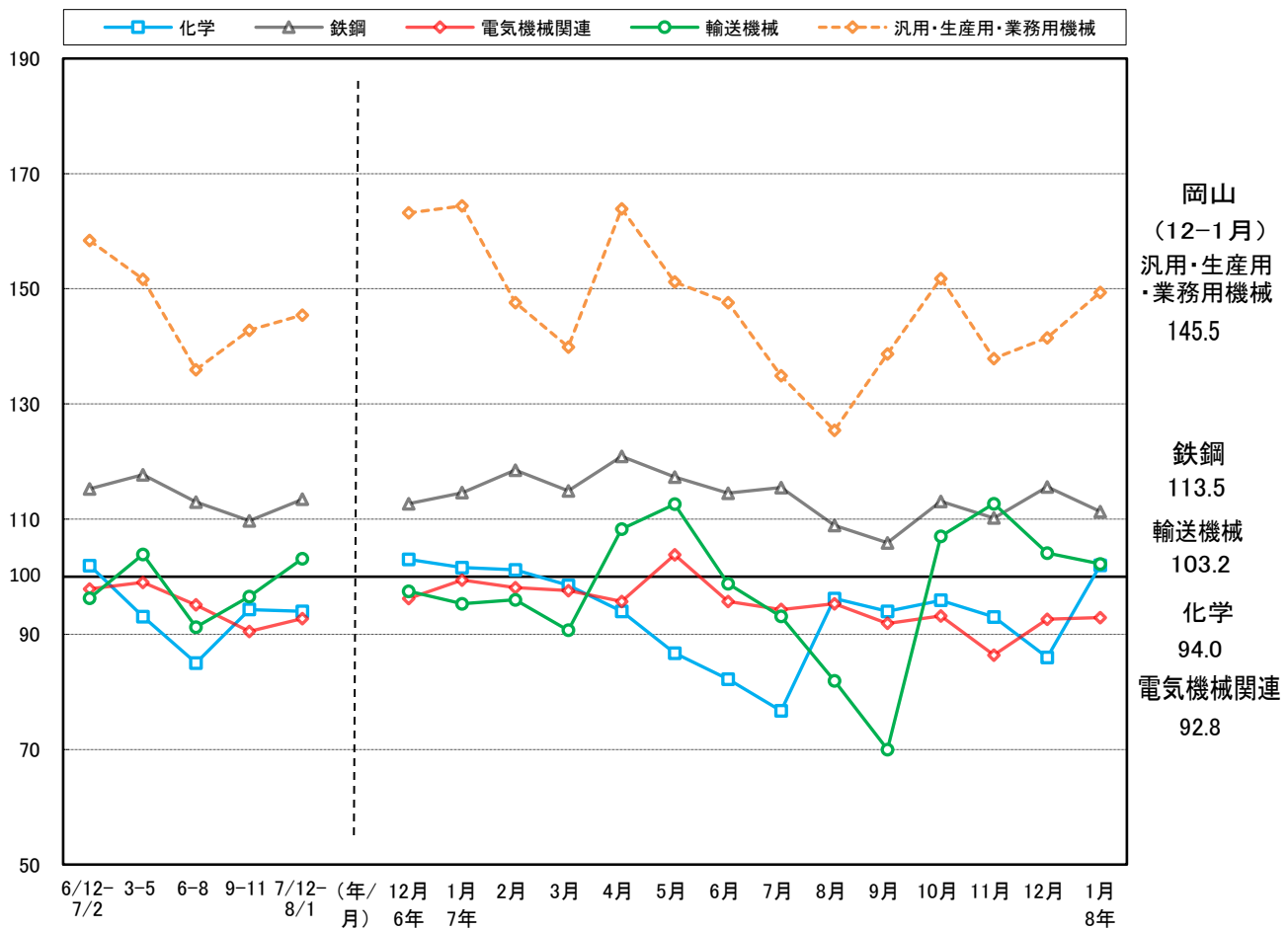
(指数)(令和2年=100)



(資料出所: 経済産業省、岡山県)

(2) 主要産業別生産指数(季節調整済)

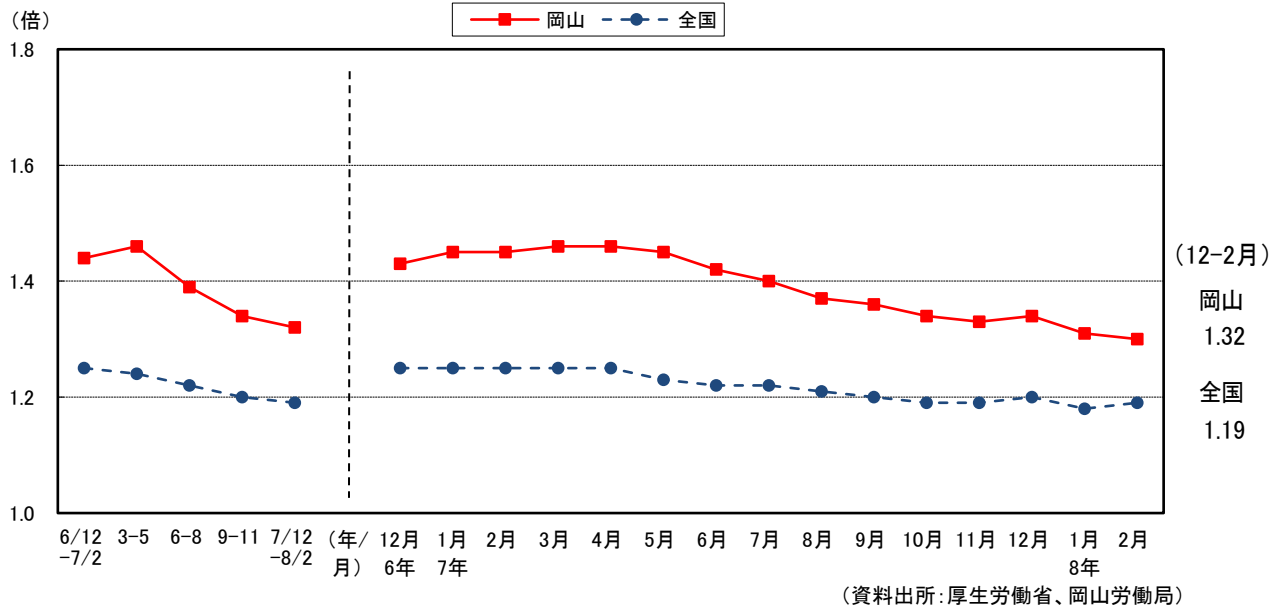
(指数)(令和2年=100)



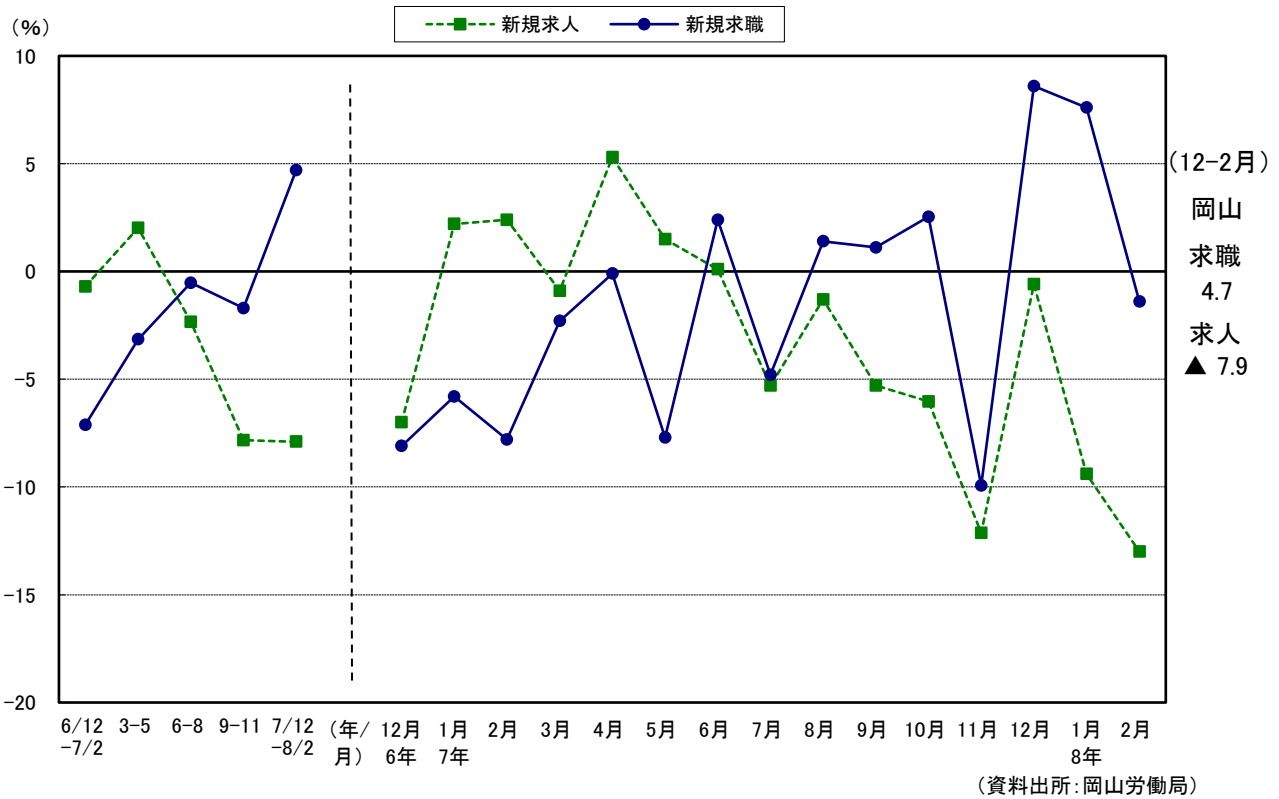
(資料出所: 岡山県)

3.雇用情勢 改善に向けた動きに一服感がみられる

(1)有効求人倍率(学卒を除く、季節調整値)



(2)新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



4.設備投資 (除く土地、含むソフトウェア投資) 7年度は前年度を上回る見込み

(前年度比増減率:%)

設備投資	全産業		製造業		非製造業	
	()	()	()	()	()	()
7年度	(5.6)	11.3	(▲6.4)	▲1.8	(33.6)	43.4
8年度		35.3		42.4		27.2

(注)当所法人企業景気予測調査(8年1~3月期)結果
()書きは前回(7年10~12月期)調査結果

(資料出所:岡山財務事務所)

5.企業収益 (電気・ガス・水道業及び金融業・保険業を除く) 7年度は減益見込み

(前年度比増減率:%)

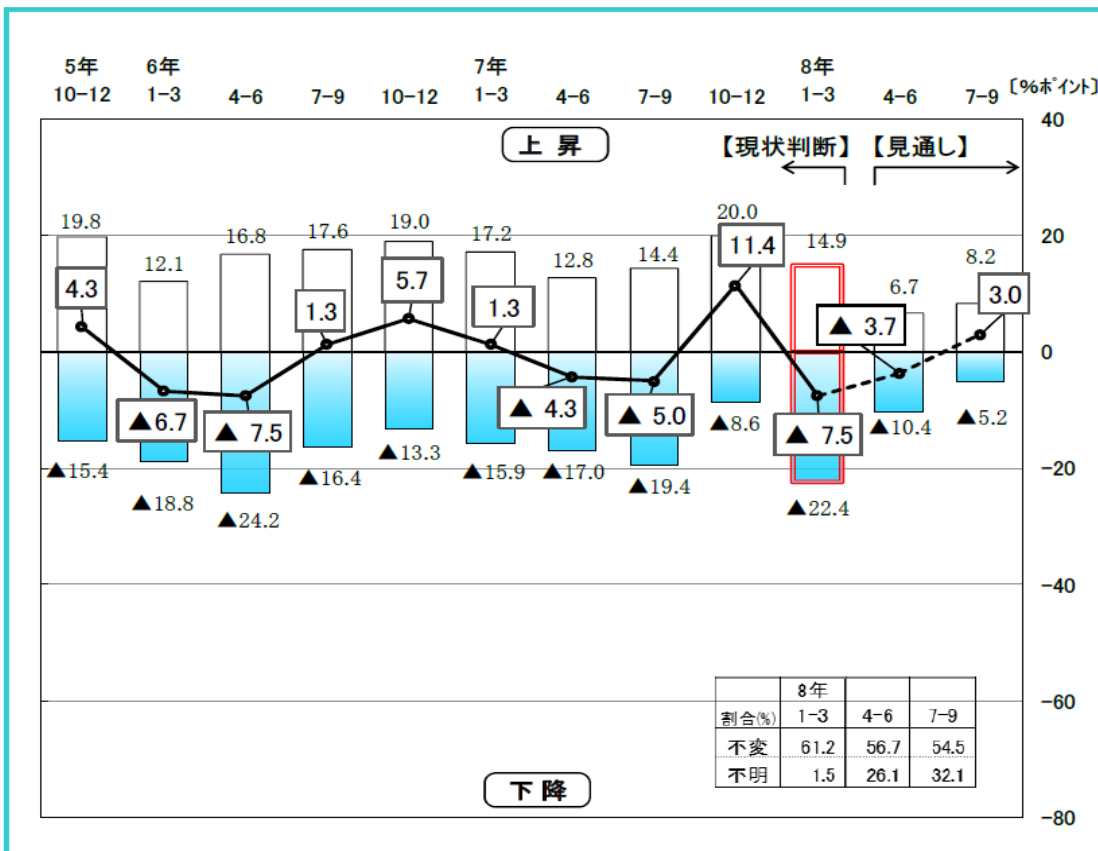
経常利益	全産業		製造業		非製造業	
	()	()	()	()	()	()
7年度	(▲44.6)	▲2.8	(▲59.2)	▲17.0	(▲2.8)	36.3
8年度		▲47.0		▲54.8		▲34.0

(注)当所法人企業景気予測調査(8年1~3月期)結果
()書きは前回(7年10~12月期)調査結果

(資料出所:岡山財務事務所)

6.企業の景況感 「下降」超に転じている

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

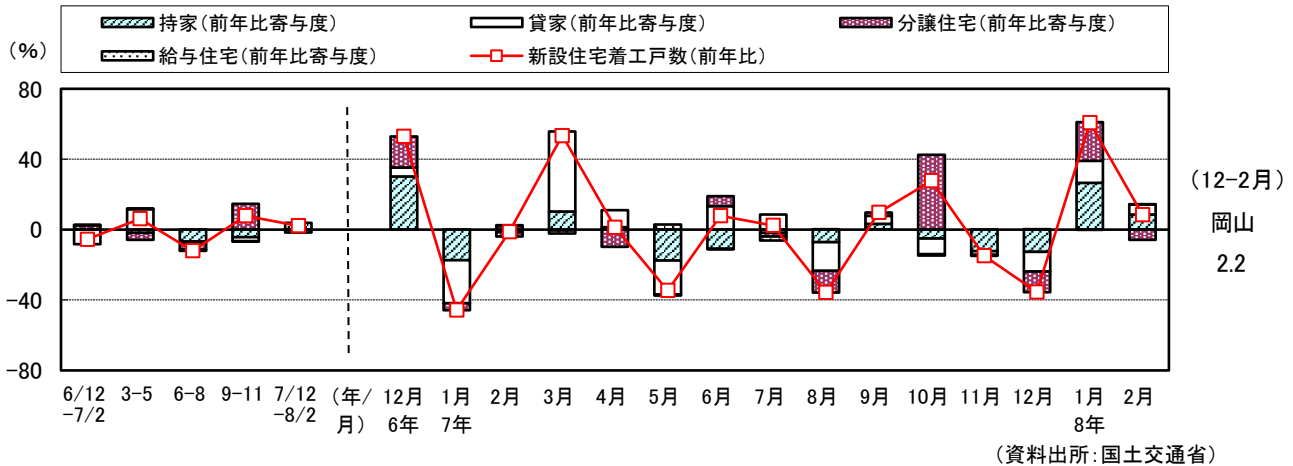


(注)当所法人企業景気予測調査(8年1~3月期)結果

(資料出所:岡山財務事務所)

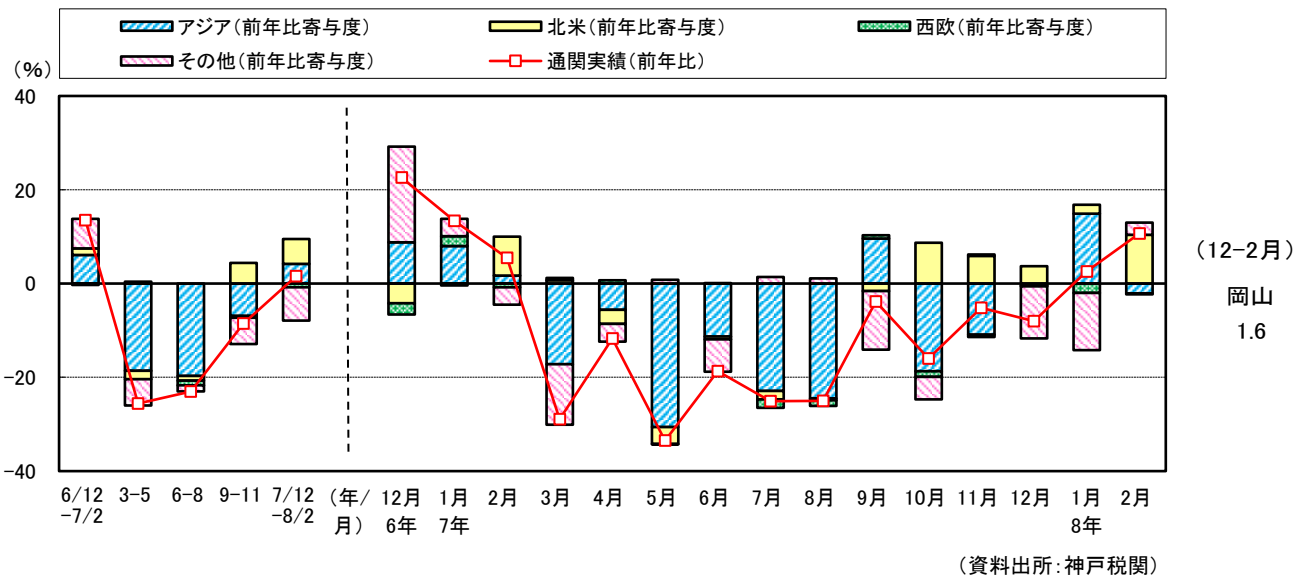
7.住宅建設 前年を上回っている

新設住宅着工戸数(前年比及び利用形態別寄与度)



8.輸出 前年を上回っている

輸出(円ベース)



<参考>

輸入(円ベース)

